

Title	日吉台先史時代住居址百十一號寫眞及び其の實測圖
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1936
Jtitle	史学 Vol.15, No.3 (1936. 11)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	口繪
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19361100--004

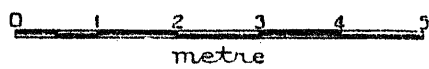
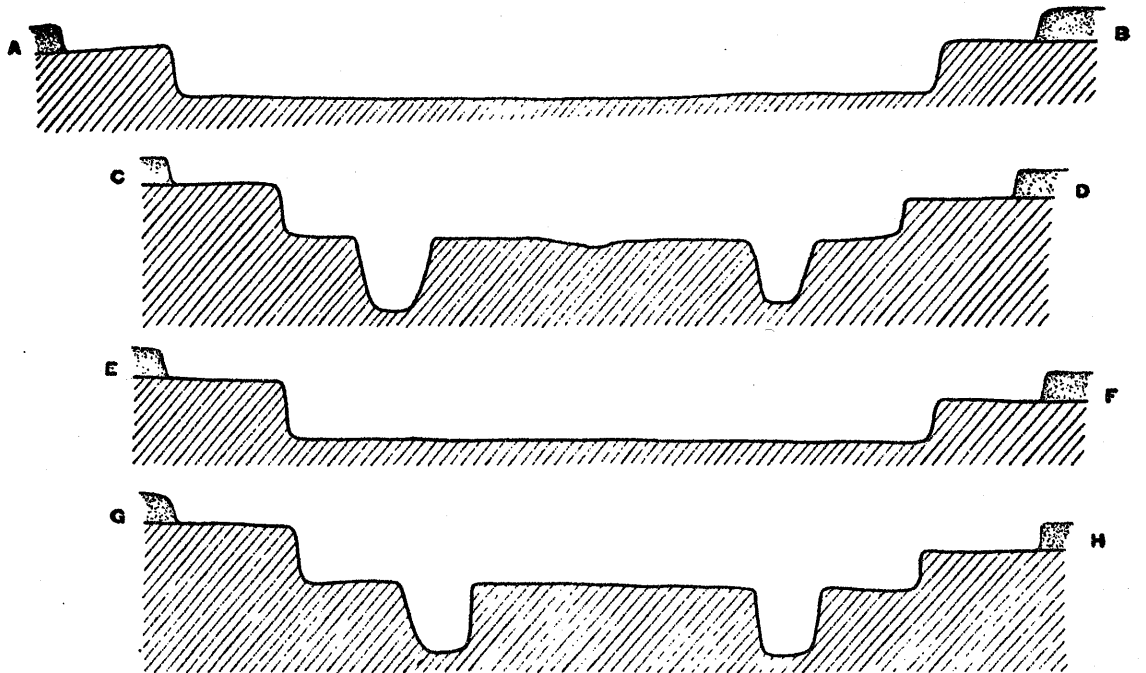
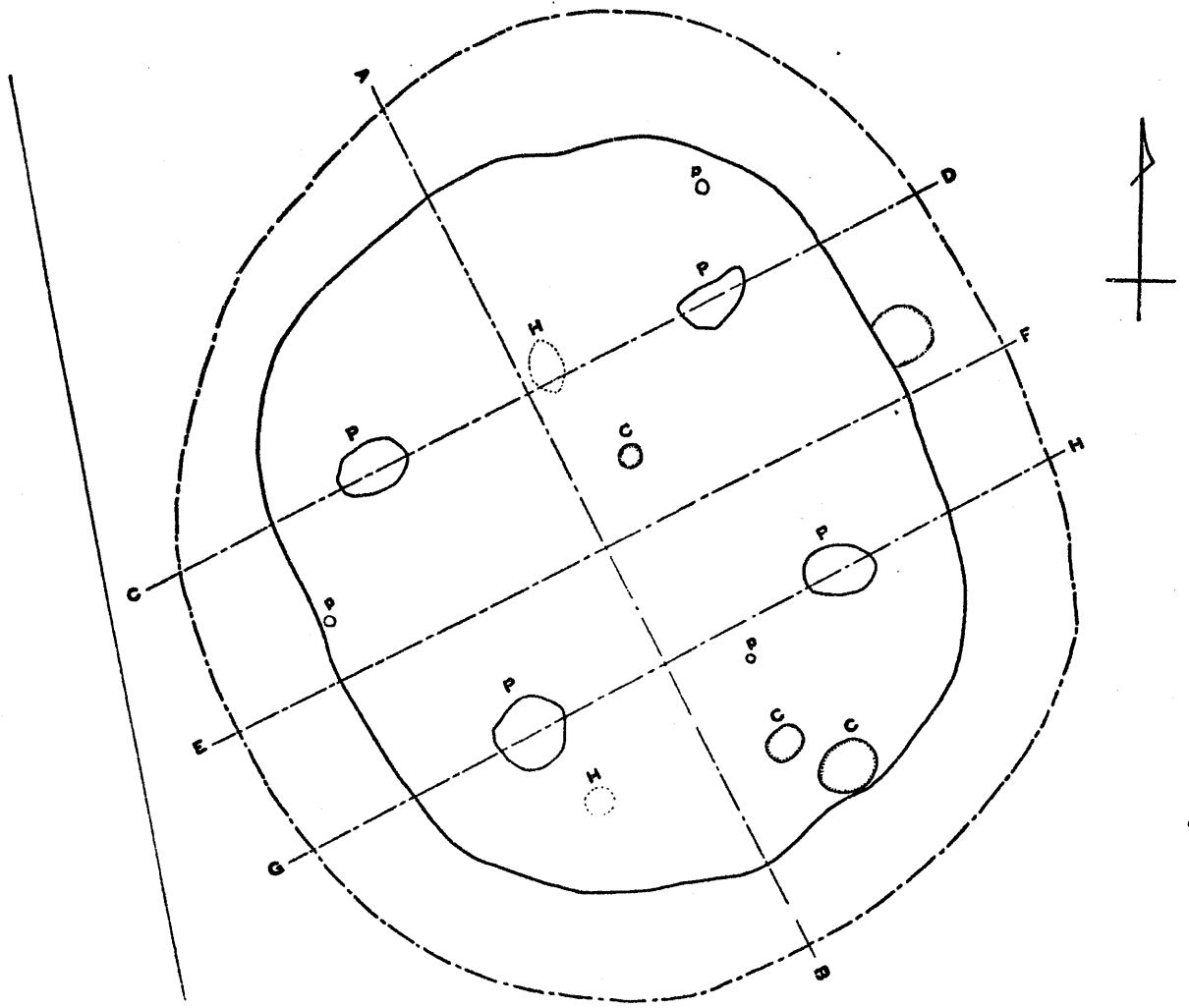
慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

日吉臺先史時代住居跡

本寫眞は神奈川県日吉臺本塾豫科敷地に於て本年七月我史學會の手により發掘された第百十一號先史時代住居跡の寫眞である(業報参照)。本會發掘終了後本住居跡の石膏模型製作を帝室博物館の巽一太氏に依頼し、今秋ハーバート大學三百年祭に參列される本塾々長小泉信三氏は之をハ大學に贈呈される爲携行された。なほ次に掲ぐる凸版圖はこの模型製作の爲博物館囑託の森貞成氏が七月廿九卅日の兩日にわたり、同遺跡を清掃され、作成された精密圖である。圖中に示されたPは柱穴、Hは爐跡、Cは柱穴かどうか疑はしき穴を示してをる。なほ爐跡らしいものはこの外になほ一つ存在してをる。また寫眞中住居跡を横斷する黒線は道路に沿ひ畑との間を隔てた溝であり茶の木を植えてあつた跡であり本遺跡と何等關係するものでない。





日吉先史時代住居跡百十一號實測圖